

空間デザインにおける DX 推進の取り組み

CIO 兼 CISO 阿部弘明

現在、世の中で使われている「デジタル・トランスフォーメーション」(以下 DX)の定義は使い方や場面によってまちまちです。

DX という概念は、2004 年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱されました。教授の定義によると、DX とは「ICT の浸透が人々のそもそも生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」と示されています。

空間デザインの DX

空間デザインの企業理念を達成するため、第 3 のプラットフォーム(クラウドサービス、設計データ、ソーシャルネットワーク)を利用することで、ワークライフバランスを実現しながら自らの設計デザイン能力・チームワークを最大限に発揮し、快適で魅力的な屋内・外空間を作り出す設計業務をクライアントへ提供できること。

空間デザインの戦略

目指すべき方向	DX を推進することでクライアントのニーズに応えられる組織作り、働き方の変化に合わせた業務運営作りなどを通じて社員のワークライフバランスを推進して継続発展していく。
あるべき姿	社員全員が過去の実績データを元に提案やディスカッションが行えており、労働時間の短縮ができています。 バックオフィス(経営企画・広報・情報システム・労務・財務・経理・人事・求人採用・社員教育・総務等)は DX を活用、外部顧問を積極的に導入することで最小限の体制で運用している。
経営目標	DX 化により業務効率を上げ、建築設計業界の平均以上の給与水準とする。 自己資本比率を高め、永続して安定する経営を目指す。

空間デザインの DX 推進体制

CIO : 阿部弘明

CISO : 阿部弘明

各部門担当者

営業部 : 谷口秀明

総務部 : 相原由希子

設計部 : 渡邊行範

DX 推進室(兼 情報セキュリティ推進室)

責任者 : 阿部弘明

担当者 : 相原由希子

以上